

防災訓練実施結果報告書の要旨

2023年3月22日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

- 総合訓練（複数の訓練を組み合わせて行う訓練）

訓練実施日	2022年11月29日
参加人数	194名
想定した原子力災害の概要	大地震発生を起因として、ウラン粉末が排気筒から屋外へ放出され、原子力災害対策特別措置法第10条及び第15条に至る原子力災害を想定。
訓練の内容	(1) 通報訓練 (2) 除染作業等の訓練 (3) モニタリング訓練 (4) 避難誘導訓練 (5) その他の訓練
訓練の評価	各項目の訓練を実施し、訓練評価者による訓練結果、訓練終了後の反省会等により、計画した訓練に大きな支障がなく、訓練目標を達成しており、原子力防災本部の対応能力向上と原子力防災本部が原子力災害の拡大防止に有効に機能することを確認した。
今後に向けた改善点等	今回の訓練の結果、以下の改善点を抽出した。 (1) EAL判断の正確な理解と伝達 (2) 事業者間協定での具体的な支援内容の検討 (3) ERCとのモニタリングの位置、トレンド、進捗の共有 以上より、一部改善が必要な箇所が抽出されたが、原子力防災本部の対応能力の向上が確認できたことから、2022年度の防災訓練の目的に対して良い結果が得られたと考える。今回の訓練結果をもとにPDCAを回すことにより、原子力防災業務計画及び中期計画を見直し、防災体制の継続的な改善を図っていく。

用語等の解説

- EAL (Emergency Action Level)
緊急時活動レベルのこと。原子力施設において異常事象が発生した際、緊急事態を判断する基準を言う。
- ERC (Emergency Response Center)
原子力規制庁緊急時対応センターのこと。原子力施設で災害が発生した場合に、政府の活動拠点となる機関。

以上